

令和 7 年度政策討論会 第三分科会（第 4 回）要点記録

- ・ 日時 令和 7 年 8 月 12 日（火）
- ・ 場所 議会会議室
- ・ 会議時間 10：00～10：35
- ・ 出席者

中岡 佐織（座長）
西田 武史（副座長）
小西 拓模
殿本 マリ子
南 加代子
友永 修
中井 良介
井舎 英生

（座長、副座長以下は議席番号順）

テーマ：郷土愛について - 岸和田市讃歌、岸和田音頭などを活用しながら -

1. 各議員の発言要旨

（友永議員）

- ・ 岸和田市讃歌や岸和田音頭を広めるために、こういった場面で曲を流せば良いのか、座長から報告をいただいた。ありがとうございました。また、副座長から、場所や行事を特定するのではなく、ざっくりと「行事・式典」「公共施設等」としたらどうかと提案があった。その通りだと考える。そういう意味から議論は十分できたと思うので、提案書（提言書）案づくりに取り掛かってはどうかと考える。

（殿本議員）

- ・ 岸和田市讃歌を義務教育の歌唱指導に組み込んでいけますか。
- ・ 「海づくり大会」でも岸和田で式典があるのだから、出来たら岸和田市讃歌を少しでも流して欲しいです。
- ・ 岸和田ではどんな行事が行われていますか。

（南議員）

- ・ 意見として、讃歌を様々な所で活用することは大切であるが、テーマは郷土愛についてどう育んでいくのかだ。前回と同様になるが、例えば横浜市の子ども達が市の讃歌を歌えるように子どもの頃から親しむことが大切だ。学校の副読本には、岸和田讃歌を引き続き掲載しその背景を学びながら歌える機会など、取り組み方は色々であっても先生方にも協力いただきたい。

(井舎議員)

- ・ 市のトップ及び幹部は、市歌を知っているのでしょうか。

(中井議員)

- ・ 卒業式など学校行事で歌うようにとの意見があるが、市歌を普及させたいとの思いはわかるが、行事の時間的な制約のなかで、子どもたちが歌いたい曲もあり、この点での配慮が必要だと思う。曲を流す市の施設として競輪場はどうですか。

(西田副座長)

- ・ 先日、泉佐野市議会主催の「こども議会」に傍聴に行ったところ、入場時に泉佐野市歌が流されており、本市も取り入れることが出来るのではないかと思う。また、行事は特定するのではなく、可能であれば積極的に流してもらえるようにすべきである。

(小西議員)

- ・ 駅での使用は難しい。
- ・ 商店街で岸和田讃歌を流す事は可能。
- ・ 市のホームページに掲載することは次回に報告する。

(中岡座長)

- ・ 前回、皆さんと岸和田市讃歌や岸和田音頭を活用できそうな場所をリストアップした各課からの回答です。
 - 1 交流センターや城などの公共施設（観光課）・・・指定管理者へお願いすることはできる。（交流センターの場合は館内のテレビで映像と共に流すことが出来そう）
 - 2 海づくり大会（農林水産課）・・・これから方向性などを考えていくところなので、実行委員会に提案をすることはできる。（大分県で開催した YouTube があるので雰囲気を確認できる）
 - 3 成人式（生涯学習課）・・・市立公民館で活動（練習）しているジュニアオーケストラがお迎え時に B G M 演奏する。今年はすでに今年の曲を練習していると思うので難しいと思うが、来年以降はお願いしてみることはできる。
 - 4 防災無線（危機管理課）・・・各町会に委ねており最近では苦情も多く使用されていないところがほとんどなのでハードルが高そう。
 - 5 市役所電話の保留音（総務管財課）・・・確認中（中岡座長）。

2. 次回の10月7日（火）は、提案書のまとめ案について議論する。